

エイジツ

Rose Fruit

ROSAE FRUCTUS

當実

本品はノイバラ *Rosa multiflora* Thunberg (*Rosaceae*) の偽果又は果実である。

性状 本品の偽果は球形，だ円球形又は偏球形を呈し，長さ 5 ～ 9.5 mm，径 3.5 ～ 8 mm である。外面は赤色～暗褐色で，滑らかでつやがある。しばしば一端に長さ約 10 mm の果柄を付け，他端にがく片のとれた五角形のがくの残基がある。内部には周壁に銀白色の毛が密生し，5 ～ 10 個の成熟した堅果がある。堅果は不整角性の卵形を呈し，長さ約 4 mm，径約 2 mm である。外面は淡黄褐色で，一端は鈍形で他端はややとがる。

本品はわずかににおいがあり，花床は甘くて酸味がある。堅果は初め粘液ようで，後に渋くて苦く，刺激性がある。

確認試験 本品の粉末 1 g にメタノール 20 mL を加え，2 分間穏やかに煮沸した後，ろ過し，ろ液 5 mL にリボン状のマグネシウム 0.1 g 及び塩酸 0.5 mL を加えて放置するとき，液は淡赤色～赤色を呈する。

純度試験 異物 本品は果柄及びその他の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 6.0 % 以下。

エイジツ末

Powdered Rose Fruit

ROSAE FRUCTUS PULVERATUS

當実末

本品は「エイジツ」を粉末としたものである。

性状 本品は灰黄褐色を呈し，わずかににおいがあり，味はわずかに粘液ようで，渋くて，苦く，またわずかに酸味がある。

本品を鏡検するとき，極めて厚膜で径 35 ～ 70 μm の毛の破片，褐色のタンニンの塊を含む表皮及び下皮の破片，灰褐色の内容物を含む薄膜性の基本組織の破片，細い道管の破片，シュウ酸カルシウムの単晶，双晶又は集晶（花床の要素），厚膜組織の破片，繊維群の破片，細い道管の破片，褐色のタンニン又は粘液を含む表皮の破片（果皮の要素），アレルギーロン粒又は脂肪油を含む多角形の内乳の破片，多角形でタンニンを含む外面の表皮の破片，やや長形で側膜が波形の内面の表皮の破片（種子の要素）を認める。

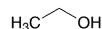
確認試験 本品 1 g にメタノール 20 mL を加え，2 分間穏やかに煮沸した後，ろ過し，ろ液 5 mL にリボン状のマグネシウム 0.1 g 及び塩酸 0.5 mL を加えて放置するとき，液は淡赤色～赤色を呈する。

灰分 6.0 % 以下。

エタノール

Ethanol

アルコール



$\text{C}_2\text{H}_6\text{O}$: 46.07

Ethanol [64-17-5]

本品は 15 °C でエタノール ($\text{C}_2\text{H}_6\text{O}$) 95.1 ～ 95.6 vol % を含む（比重による）。

性状 本品は無色透明の液で，特異なおい及びやくような味がある。

本品は水又はジエチルエーテルと混和する。

本品は燃えやすく，点火するとき，淡青色の炎をあげて燃える。

本品は揮発性である。

確認試験

(1) 本品 1 mL にヨウ素試液 2 mL 及び水酸化ナトリウム試液 1 mL を加えて振り混ぜるとき，淡黄色の沈殿を生じる。

(2) 本品 1 mL に酢酸 (100) 1 mL 及び硫酸 3 滴を加えて加熱するとき，酢酸エチルのにおいを発する。

比重 d_4^{20} : 0.814 ～ 0.816

純度試験

(1) 溶状 本品 10 mL を水 30 mL に混和し，5 ～ 10 °C で 30 分間放置するとき，液は澄明である。

(2) 酸又はアルカリ 本品 20 mL に新たに煮沸して冷却した水 20 mL 及びフェノールフタレイン試液 3 滴を加えるとき，液は無色である。これに 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 0.10 mL を加えるとき，液は赤色を呈する。

(3) 塩化物 本品 10 mL に希硝酸 2 滴及び硝酸銀試液 2 滴を加え，5 分間放置するとき，液は変化しない。

(4) 重金属 本品 30 mL をとり，第 1 法により操作し，試験を行う。比較液には鉛標準液 3.0 mL を加える (1.2 ppm 以下)。

(5) フーゼル油及び類似不純物 本品 10 mL に水 5 mL 及びグリセリン 1 mL を加え，この 0.3 mL をにおいのない紙上に滴下し，常温で放置して揮散させるとき，異臭を残さない。また，本品 5 mL を硫酸 5 mL を入れた試験管内に注意して層積するとき，接界面は紅色を呈しない。

(6) アルデヒド又はその他の還元性物質 本品 10 mL に 15 °C で 0.02 mol/L 過マンガン酸カリウム液 0.30 mL を加え，15 °C で 20 分間放置するとき，液の赤色は残る。また，本品 10 mL に水酸化ナトリウム試液 5 mL を加えて 5 分間放置するとき，液は黄色を呈しない。

(7) 揮発性混在物 試験を行うとき，これに適合する。

(8) 蒸発残留物 本品 40 mL を正確に量り，水浴上で蒸発した後，残留物を 105 °C で 1 時間乾燥するとき，その量は 1.0 mg 以下である。

貯法

保存条件 遮光して，火気を避けて保存する。

容器 気密容器。